

シンポジウム

# ドイツ語圏のミンゾク文化

—交差する人・モノ・情報が生む世界—

日時:2022年11月28日（月） 10:50～12:30

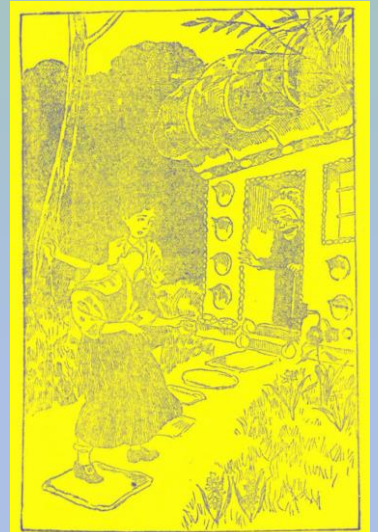
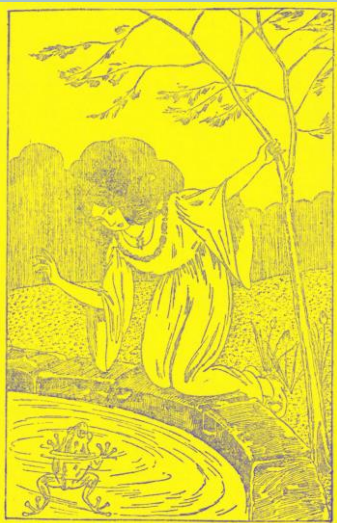
場所:MMC 米田吉盛記念講堂（4010）（対面）

## 発表

- 1 角南聡一郎（国際日本学部 歴史民俗学科）  
内外ミンゾク学交渉史序説  
—日本とドイツ語圏の場合—
- 2 角山朋子（国際日本学部 国際文化交流学科）  
オーストリア・デザインの国際的展開  
—同期し合う世界と文化—
- 3 山田香織（東洋大学社会学部 国際社会学科）  
表現・議論・鑑賞することの意味と日常性  
—アート（的）実践の場を手がかりに—

## 質疑応答

司会 ステファン・ブッヘンベルゲル  
（国際日本学部 国際文化交流学科）



本シンポジウムは、応用ドイツ語IIB／入門ドイツ語IIA授業の一環として実施しますが、その他参加希望の学生等は角南研究室（MMC15023）まで、事前に問い合わせをお願いします。

イラスト:金の星社編 1928『グリム童話集』金の星社より

主催:神奈川大学人文学会